

## 様式第1号

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度 第2回 所沢市公共事業評価委員会
開 催 日 時	平成23年10月28日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
開 催 場 所	市役所高層棟3階 301会議室
出 席 者 の 氏 名	佐野友紀、大原一興、杉崎和久
欠 席 者 の 氏 名	小澤紀美子
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1)「校舎等大規模改修事業(耐震補強事業)」に関する評価 (2)その他
会 議 資 料	資料1 「校舎等大規模改修事業(耐震補強事業)」の評価にあたっての論点 資料2 平成19年度事務事業評価表(公共事業用) 資料3 平成23年度事務事業評価表(公共事業用) 資料4 所沢市学校施設耐震化推進計画 資料5 所沢市学校施設耐震化推進計画(ダイジェスト版) 資料6 所沢市学校施設の耐震化状況について 資料7 学校施設の耐震化の推移
担 当 部 課 名	教育施設担当参事 田中文雄、教育施設課副主幹 青木操、 教育施設課主査 小川和彦、 政策企画課主幹 林誠、政策企画課主任 中村順史 総合政策部政策企画課 電話 04(2998)9027

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>( 1 ) 「校舎等大規模改修事業（耐震補強事業）」に関する評価</p> <p>はじめに事務局より、前回の委員会での審議内容及び現地視察の様態などについて説明を行った。</p> <p>その後担当の教育施設課より、当事業を評価するうえでの論点（解決すべき課題、今後の方向性）に対して現在の進捗状況や考え方等の説明があった後、委員との意見交換がなされた。</p> <p>各論点についての主な意見は以下のとおりである。</p> <p>耐震化事業の進捗状況及び今後の予定の再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当事業は緊急性の高い事業であるので、今後も着実に取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 地域住民にとって、その施設が耐震化の必要があるのかどうか、また、耐震化が済んでいるのかどうかという情報が示されないと不安に感じる場所である。校舎の入口に案内板を掲示するなど、情報を積極的に地域住民に伝えていく姿勢が必要である。</li> <li>・ 耐震化を進めていくなかで、より緊急性の高い施設を優先的に実施していくのは当然であるが、住民に対してわかりやすく情報提供すべきである。</li> </ul> <p>耐震化事業と他事業（バリアフリー化、緑化、防水等）の共同の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 2 5 年度までは耐震化事業をこのまま推進していくべきだが、耐震化が完了した後の平成 2 6 年度以降の学校施設の改築等をどのように進めていくかをそろそろ考えていくべきではないか。</li> <li>・ 少子化が進行するなど、施設建設当初とは社会環境が大きく異なる</li> </ul>

るなかで、施設の有効活用や維持管理を示したマネジメント計画の策定が必要である。

- ・ 教育委員会のみでなく、市全体で連携が図れる全体的なマネジメント計画の策定が必要である。
- ・ 耐震工事は構造部分に手を入れられる数少ない機会である。財源の都合上、その他の工事と併せて実施するのは厳しい状況であるのは理解できるが、教育環境を向上させるための改修を併せて進めることも検討されたい。
- ・ そもそも耐震化やバリアフリー化は児童生徒の安心安全を守る最も基本的なものであり、教育環境を良くすることとは性質が異なる。耐震化・バリアフリー化については市全体の課題として取り組み、教育委員会は教育環境の向上を目指すことに特化するという考え方もあるのではないか。

#### 構造以外部分（天井部材等）の耐震化の計画、検討

- ・ 構造部分の耐震化が完了していても、窓ガラスや天井といった構造以外部分の耐震化が対応できていなければ、安全面では不十分である。
- ・ 学校施設は災害時の避難拠点となることから、構造以外部分についても安全性の向上が必要である。
- ・ 体育館の照明設備などについては、現状の設備のなかで維持管理していくより、新しい設備を導入したほうがその後の維持費用を含めたトータルコストが抑えられることもある。イニシャルコストとランニングコストの兼ね合いを検討し、設備を更新すべきかどうかを判断すべきである。
- ・ 照明設備については、LED化を進めて維持管理費用を抑えることも検討が必要かと思うが、蛍光灯とは光の質が異なり、室内の雰囲気も大きく変わることもについても考慮する必要がある。

#### 工事価格適正化の方策

- ・ 今後も工事価格の適正化に努めていただきたい。
- ・ 耐震化の工法も現在は様々なものが出てきている。今後可能な部分については、工法を多様化させて学校に個性を出すという観点があってもよいのではないか。
- ・ 市による画一的な仕様による発注ではなく、性能による発注をし、工法を含めた提案を業者にさせ、それにより業者選定をするといった方法も検討すべきである。

#### その他

- ・ 耐震工事は地域住民や児童生徒が防災等を学ぶ機会でもある。防災の意識を高めるきっかけになるような仕掛けをしてもよいのではないか。
- ・ 工事現場の見学会の開催や工事前後の現場写真を解説付きで展示するなど、市民に耐震の必要性や防災についてよりよく理解していただくために工夫をこらしてはどうか。

以上の意見を踏まえて評価を行った。評価については別紙のとおりである。

#### ( 2 ) その他

特になし

以上